

FA シリーズ使用手順

FAシリーズは、フラッシュライタ（FL-PR2, FL-PR3, PG-FP3（NEC製））を使用し、NECフラッシュ内蔵マイコンに書き込みを行うための専用アダプターです。

以下の手順に従い本アダプターをご使用下さい。

1. まず配線を行って下さい。

- ・本ボードは、お客様にて配線*2を行って頂くことにより、書き込みアダプターとして使用できます。

*2. . . フラッシュライタ書き込み信号（SI, SO, SCK, X1, X2, RESET, VPP1, VPP2 (RESERVE/HS) 及び、GND, VDDと、ICソケット端子を各フラッシュマイコンの書き込み仕様に従い配線します。
（配線の仕様については各フラッシュマイコンのユーザーズマニュアル、その他を参照して下さい。）
NMI端子がある場合のチップはその仕様に従い、必ず処理して下さい。

2. クロックの発振回路を確認して下さい。

各フラッシュマイコンのユーザーズマニュアルを確認し、クロックの推奨回路が74HCU04を使用しているか確認してください。

もし、74HCU04が無い場合*3、お客様自身で、推奨回路のICを用意し本ボードのIC1に乗っている74HCU04を交換してください。
74HCU04の場合は、このまま使用できます。

*3. . . デバイスのユーザーズマニュアルに推奨回路が載っていない場合、74HCU04が使用できる場合もあります。その場合、各デバイスの窓口にお問い合わせをお願いします。

特殊項目（固定動作周波数のみでしか書けないマイコンの場合。）

お客様が使用するマイコンの関係上、固定の動作周波数のみでしか動作しないマイコンの場合、任意の水晶発振器をFAシリーズに載せて使用することができます。

・使用方法

本ボードのX1のICソケットに乗っているICフォームを取り外し、お客様の任意の水晶発振器を取り付ける事が可能です。

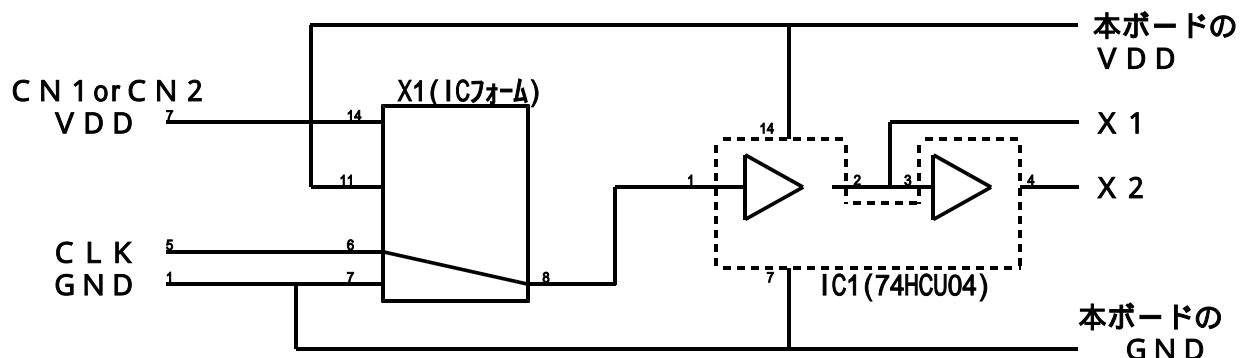
（14pinタイプ / 8pinタイプ両方とも可。*4）

その際、本ボードのVDDはお客様自身で用意していただく事になります。

（フラッシュライタからのVDD電源は、水晶発振器を安定して動作させることは不可能なため。）

*4. . . 水晶発振器を取り付けることは不可能です。

以下に本ボードのクロックの回路図を示します。



3. ライターを接続して書き込みを行って下さい。

- ・配線後のF Aにフラッシュライタと本ボードを接続して下さい。

接続方法には以下の2種類があります。

- 本ボードのCN1 (D - s u b 9ピン) を使う場合。
本ボードのCN1とフラッシュライタのT A R G E T コネクタ (D - s u b 9ピン) を直接接続して下さい。
- 本ボードのCN2 (F L A T 10ピン) を使う場合。
本ボードのCN2とフラッシュライタのT A R G E T コネクタをフラッシュライタに添付されているターゲットI / Fケーブル1にて、接続して下さい。

